

4日 土曜

テモテⅡ



2:14 これらのことを人々に思い出させなさい。そして何の益にもならず、聞いている人々を滅ぼすことになるような、ことばについての論争などしないように、神の御前できびしく命じなさい。

2:15 あなたは熟練した者、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげよう、努め励みなさい。

2:16 俗悪なむだ話を避けなさい。人々はそれによってますます不敬虔に深入りし、

2:17 彼らの話は癌のように広がるのです。ヒメナオとピレトはその仲間です。

2:18 彼らは真理からはずれてしまい、復活がすでに起こったと言って、ある人々の信仰をくつがえしているのです。

2:19 それにもかかわらず、神の不動の礎は堅く置かれていて、それに次のような銘が刻まれています。「主はご自分に属する者を知っておられる。」また、「主の御名を呼ぶ者は、だれでも不義を離れよ。」

「ことばについての論争」を避け、「熟練した者」となるために、自分をささげ、「俗悪なむだ話を避け」て、真理からはずれないようにしましょう。

世の中の価値観、また成熟していない人の価値観では、論争に勝てる人は「熟練」しているように思われますがそれは違います。本当の熟練は、「まっすぐに説き明かす」人であり、イエスを「恥じることのない働き人」のことでです。

ことばで人に勝つよりも、このような純粋な者となって、神様の価値観で生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

